科目ナンバリング	U-LAS29 20031 SJ48						
授業科目名<英訳>	日本語アカデミック・ライティングII Japanese Academic Writing II			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 半田　佳奈子		
群	外国語科目群			分野(分類)		使用言語	日本語
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	火3	配当学年	1回生	対象学生	留学生

[授業の概要・目的]

論文・学術的レポートを日本語で書く上で必要な知識・技能を身につけることが主な目的である。本授業では、論文を書く前のアイディアの膨らませ方、パラグラフの作り方、序論・本論・結論の書き方、文や段落の接続技法、効果的な意見の述べ方などに関する講義と、日本語執筆の実践練習を通して、論理的な日本語を書く力を身につけてもらう。

[到達目標]

学術的レポートや論文の構成およびそこでよく使われる表現を理解し、実際に小論文を書けるようになること。

[授業計画と内容]

論文でよく使われる表現を確認し、実際に使えるように練習する。序論、本論、結論の書き方を順に追いながら文章を構成していき、最終的に小論文を完成させる。

第1回　オリエンテーション
第2回　論文作成の基礎・論文の構成①
　論文作成にあたっての基本的知識、論文の構成
第3回　論文作成の基礎・論文の構成②
　論文作成にあたっての基本的知識、論文の構成
第4回　序論①
　序論の役割と構成、背景説明
第5回　序論②
　問題提起、方向付け
第6回　本論①
　本論の役割と構成、論拠提示
第7回　本論②
　意見提示
第8回　本論③
　結論提示
第9回　結び①
　結びの役割と構成
第10回　結び②
　全体のまとめ、評価、展望提示
第11回　論文展開の技術と日本語表現
第12回　要旨、参考文献の書き方
第13回　小論文の作成と推敲
　小論文を作成し、その小論文をグループで推敲する
第14回　小論文の作成と推敲
　小論文を仕上げる
《期末レポート》

日本語アカデミック・ライティングII(2)へ続く↓↓↓

日本語アカデミック・ライティングII(2)

第15回　フィードバック

[履修要件]

日本語・日本文化研修留学生専用科目として開講する。

[成績評価の方法・観点]

授業への参加度（30%）、提出物（70%）によって評価する。

[教科書]

浜田麻里ほか『論文ワークブック』（くろしお出版, 1997）

[参考書等]

（参考書）
小森万里・三井久美子『レポート・論文を書くための日本語文法』（くろしお出版, 2016）

[授業外学修（予習・復習）等]

小論文の提出を最終課題とするが、序論、本論、結論に関する各回の授業後にもそれぞれの文章を提出してもらうので、それらの課題にも計画的に取り組むこと。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]